

2023年9月4日

担当：福祉部福祉政策課福祉監査室

担当者：福祉政策課福祉監査室

室長補佐 鈴木

029-301-3165

福祉政策課福祉監査室における情報漏えいについて

福祉政策課福祉監査室（以下「福祉監査室」という。）において、社会福祉施設の検査に関する情報が漏えい（FAX誤送信）する事案が発生しましたので、お知らせします。

今後、二度と同様の事案が発生しないよう、再発防止に努めてまいります。

記

1 事実発生（発覚）年月日 2023年9月1日（金）

2 概要

（1）状況

- ・8月31日（木）20時37分に、社会福祉施設の検査に必要な書類の提出を求めるFAXを送信した。
- ・当該FAXには、宛先として施設の長の姓が記載されているほか、公表されていない当該施設の決算書類1枚が添付されていた。
- ・9月1日（金）8時45分、誤送信先から電話があり、情報漏洩が発覚した。

（2）漏洩件数 1件

※当該事案は「情報セキュリティ事案対応マニュアル」のレベル分類で、レベル2に該当（影響範囲が庁外に及ぶ場合で、影響度合いの比較的小さな事案）

3 原因

- ・職員は、施設から提出された書類に記載されているFAX番号を2度確認し送信したが、書類に記載されているFAX番号が間違っていたため誤送信につながってしまったもの。

4 対応経過

- ・9月1日、福祉監査室長から、誤送信先へ電話で謝罪し当該書類の廃棄依頼。
- ・同日、福祉監査室長から当該施設の長及び当該施設を運営する法人の理事長へ謝罪の電話連絡し、御理解をいただいた。

5 再発防止策

- ・連絡は基本的にメールとし、送信時には空メールのやり取り等でメールアドレスの確認を徹底する。
- ・やむを得ずFAXを使う場合は、送信前に相手先に電話連絡し、相手方にFAX番号を必ず確認するようにする。